



Sprint

Pursuit

Middle

2023 スキーオリエンテーリング
北海道選手権大会
＜スプリント&パシュート or スプリント+ミドルディスタンス＞

兼 スキーオリエンテーリング WorldCup2023 日本代表選考会

兼 ジュニア世界スキーオリエンテーリング選手権大会 2023 日本代表選考会

大会プログラム

2022年12月17日(土)

10:00~ 受付開始

14:30~ スプリント競技

2022年12月18日(日)

09:30~ パシュート

10:00~ ミドルディスタンス

12:30~ 正式リザルト公開

主催 北海道オリエンテーリング協会
協賛 (株) アークコミュニケーションズ、(株) サッポロスキッド

運営責任者: 笹田京

競技責任者: 信原靖

コース設定者: 信原靖

会場への交通 ・ 宅配荷物の宛先

新千歳空港・札幌からのバス

・ 新千歳空港⇄ルスツ間の送迎バス

飛行機利用の方は、新千歳空港より全席予約制の直行バス「ビッグランズ号空港線」があります。ご予約は原則として7日前の午後6時までとなっております。詳細は下記までお問い合わせください。

・ ビッグランズデスク

営業時間：午前 9:00～午後 6:00 Tel : 011-223-5830 Mail : bigruns@kamori.co.jp

・ 札幌⇄ルスツ間の無料送迎バス

ルスツリゾート札幌営業所（札幌駅近く）から無料送迎バス「ルスツ号」があります。ご予約は前日の午後5時までの全席予約制になります。詳細は下記までお問い合わせください。

・ ルスツリゾート札幌営業所

営業時間：午前 9:00～午後 5:00 Tel : 011-232-5000 Mail : rusutsugou@kamori.co.jp

・ 路線バス

路線バス利用の場合、札幌・倶知安・洞爺湖温泉よりルスツリゾートまで定期路線バスが運行しております。

・ 道南バス

Tel : 011-865-5511

※「ビッグランズ号空港線」、「ルスツ号」のご利用について

大会の参加申込みの際に上記バスのご利用をご希望された方は、改めてバスの予約をする必要はございません。

下車停留所について

大会会場はルスツリゾートホテル 「ルスツヘリポート」です。

バスにて直接大会受付へお越しになられる方で「直行バス」もしくは航空会社ツアーバスをご利用の方は「ルスツリゾートホテル前」でお降りください。ノースウィング正面に停車します。

「ウェスティン ルスツリゾート」で降りると、ルスツリゾートホテルへは国道を挟んで徒歩もしくはモノレール乗車で約10分の所要時間がかかります。

前泊される方・宿泊チェックインをされる方は各々の宿泊されるホテル前にて下車ください。

ルスツリゾートから「ルスツヘリポート」までは専用の送迎車を準備しています。

スキー等 宅配荷物の受け取り先について

到着後すぐ競技準備をされる方は宅配荷物の発送先を

〒048-1711

北海道虻田郡留寿都村字泉川13番地 ルスツリゾートホテル Tel 0136-46-3331 宛に発送してください。

発送伝票に「スキーオリエンテーリング大会参加」と記載してください。

発送伝票控を忘れずにお持ちになることをおすすめいたします。

車での来場

札幌方面より

国道 230 号線を洞爺方面（中山峠経由）にてお越しください。札幌市内より約 70km、所要時間約 2 時間ですが、途中定山溪にてスキー渋滞に往復とも遭遇する可能性が高いので時間には余裕を持ってお越しください。

新千歳空港より

支笏湖・美笛峠・伊達市大滝区経由 国道 276 号線経由で所要約 2 時間。約 80km 誘導看板あり。

函館方面より

国道 5 号線を北上し長万部から国道 37 号線へ。洞爺湖町から国道 230 号線に乗り換え札幌方面へ。洞爺湖町から約 30km 誘導看板有り。

ルスツリゾートから「ルスツヘリポート」までは専用の送迎車を準備しています。また、自家用車などでお越しの方は「ルスツヘリポート」に直接お越しいただいてもかまいません。

ホテルの入室について

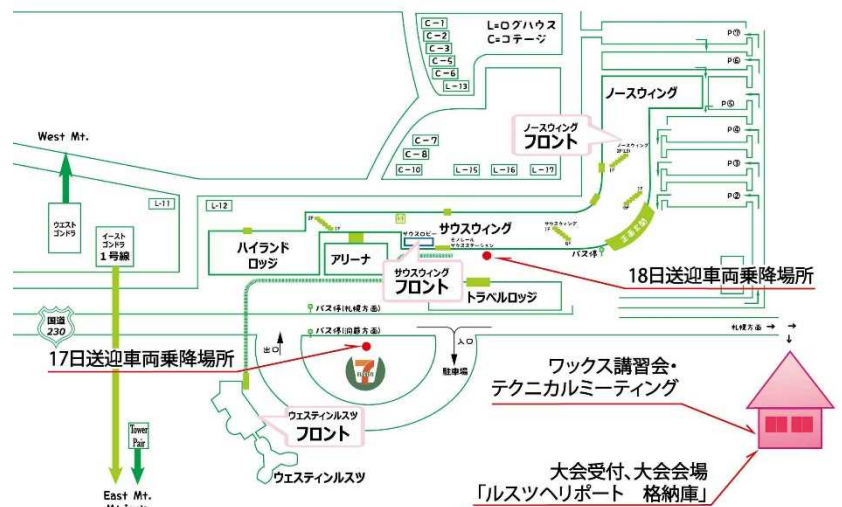
ホテルの入室手続きは運営者がまとめて行います。チェックインの時間は 15:00 以降、チェックアウトの時間は 11:00 までです。お荷物はチェックイン前・チェックアウト後も宿泊者専用コインロッカーを利用することができます。詳しくはフロントスタッフにお尋ねください。

施設配置図

ルスツリゾート施設配置図

※大会受付に向かう送迎車は、17 日は国道沿いのセブンイレブン駐車場から、18 日はサウスウイング 1 階のモノレールサウスステーション横から出発します。
ご利用される方は、各集合場所から、ルミカルフoc専用電話 080-9324-2390 にご連絡ください。

※大会受付の周囲にはコンビニ等はありません。トイレはあります。



問い合わせ・当日緊急連絡先について

◎大会の有無について

本大会は荒天等（視界不良の濃霧、吹雪など）主催者が参加者の安全が確保できないと判断した場合、一部または全部中止もしくは短縮コースになることがあります。競技情報は逐次公式掲示板にて発表いたします。

◎大会全般のお問い合わせ

笹田 京
電話 080-9324-2390 (ルミカルフoc)

信原 靖
電話 090-4877-9775
E-mail nobuhara(アットマーク)o-hokkaido.com

大会スケジュール

12月17日（土） トレーニングコース

10:00～

大会受付 ルスツヘリポート 格納庫

- ・全ての参加者は必ず受付をお通りください。
- ・ルスツリゾートから大会受付まで送迎車で約10分です。国道沿いのセブンイレブン駐車場からルミカルフOC専用電話（080-9324-2390）にご連絡ください。送迎車が迎えに来ます。マイカーやレンタカー利用の方は自車で移動が可能です。送迎車の後を付いて移動をするなどしてください。
- ・受付ではビブス、電子式コントロールカード等配布物がありますので受け取ってください。参加同意書の提出をお願いします。参加料に不備があった場合、ここで清算していただきます。
- ・コンパス、スキー、スノーシュー、マップホルダーのレンタルを希望される方は受付へ申し出てください。返却まで責任をもって保管してください。
- ・公式掲示板を格納庫内に設置しますので必ずご覧ください。
- ・スタート地区は受付場所から徒歩で約5分の位置にあります。係員の指示に従ってください。

10:30～16:00

トレーニングコース開設

- ・10:30 から 16:00 まで自由にルスツヘリポート隣接の圧雪場所を利用できます。ただし、積雪が少ない場合はオープンをしていないことも考えられます。会場近くに立入禁止エリアがあります。係員の指示に従ってください。

更衣室・荷物置き場

- ・更衣室はルスツヘリポートの格納庫に準備します。
- ・荷物置き場としてルスツヘリポートの格納庫を利用できます。ただし、夜間の出入りはできないため、忘れ物をしないようしてください。また、貴重品の管理は各自で行ってください。

12月17日（土） スプリント

競技情報

地図 縮尺 1:5,000 等高線間隔 5m 2009年北海道オリエンテーリング協会作成リメイク A4版5色刷 ISSki-0M2009 準拠 EMIT社製電子式コントロール使用 MEとWEクラスはEcardの他にEmitagも配布しますが、成績は全クラスEcardで計測します。トラックの割合（圧雪車圧雪：スノーモービル圧雪：スキー圧雪）は当日発表します。

13:00～

スタートリスト公開 ルスツヘリポート 格納庫

- ・スプリントのスタートリストを公開します。

14:30～15:30

スタート

- ・トップスタートは14:30でタイムスタートです。
- ・受付場所からスタート地区まで徒歩で約5分です。スタート地区には風雪をしのげる場所はありません。スタート地区に荷物を置くことはできません。スタート地区にトイレはありません。
- ・ウォーミングアップエリアはトレーニングコースおよび受付場所からスタート地区までの誘導区間のみです。
- ・電子式コントロールカードのない方はスタートできません。スタート地区で再配布はできません。
- ・スタート係員は出走者の呼び出しを行いません。スタート時刻が近づきましたら、スタート枠付近に待機するようにしてください。
- ・スタート3分前になりましたらスタート枠にお入りください。係員に電子式コントロールカードのチェックを受け、アクティベートを行ってください。
- ・スタート2分前になりましたらスタート枠を1つ進んでください。

- ・スタート1分前になりましたらスタート枠を1つ進み、地図を受け取ってください。このとき地図を見てはいけません。スタート15秒前になりましたら係員が合図しますので地図を見て構いません。各自スタートの準備をしてください。
- ・スタートの合図（チャイム）がなりましたらスタートしてください。スタート枠から**赤白テープ誘導**に沿っていくと前方にスタートフラッグがあります。これが地図上でのスタートマーク（△）の位置となります。全走者は必ずテープ誘導に沿ってスタートフラッグを通過してください。スタートフラッグを経由せずにコースに出た選手は失格とします。
- ・遅刻者は係員の指示を受けてください。遅刻者のタイムは正規のスタートタイムより起算して、正規のタイムとして認めます。
- ・15:30にスタートを閉鎖します。それ以後の出走は一切認めません。
- ・スタート地区ではウィンブレ輸送を行いません。また、スタート地区に残された荷物について大会係員は一切管理しません。

通過証明記印具について

- ・本大会ではEMIT社製 Ecard（電子式コントロールカード）を使用します。各コントロール（チェックポイント）に着きましたら、バックアップラベルを下にしてEcardを、フラッグに付いているユニットにはめてください。Ecardとユニットのランプが点滅します。またバックアップラベルにも跡が残ります。
- ・本大会ではMEとWEが通過するコントロールにはタッチフリーユニットが併設される予定です。全クラスでVer6のEcardを使用しますので、タッチフリーユニットのEcardマークにEcardを接触させると、Ecardとタッチフリーユニットのランプが点滅します。バックアップラベルには跡が残りますが、全クラスで通過証明として使用できます。
- ・バックアップラベルは紛失しても失格にはなりません、Ecardが故障した際には通過証明の代わりになります。
- ・MEとWEはEcardの他にEmitag（タッチフリー用コントロールカード）を配布します。Ecardを持つ手と同じ方の腕に装着してください。
- ・全クラスにおいて正式なタイムはEcardで計測します。Emitagはテスト運用です。Ecardのデータに不備がある場合に、Emitagのデータを参照することもあります、必ず行う保証はありません。

～16:30 **フィニッシュ**

- ・最終コントロールからフィニッシュまでは**赤白テープ誘導**です。全走者は必ずテープ誘導に沿ってフィニッシュを通過するようにしてください。
- ・**パンチングフィニッシュ**です。フィニッシュ後係員にコントロールカードを渡してください。地図は回収しません。スタート前の選手に見せないようにしてください。
- ・**フィニッシュ閉鎖は16:30**です。競技途中でも16:30までにはフィニッシュに戻ってください。また、途中で棄権する場合も必ずフィニッシュ・本部・救護所などの係員に連絡をしてください。16:30までに帰還確認できない場合には各方面に行方不明者として捜索依頼の連絡をいたします。
- ・質問・苦情等は大会受付にて文書のみ受け付けます。フィニッシュでは受け付けません。
- ・フィニッシュ地区はスタート地区に隣接しています。フィニッシュ後にスタートに置いた荷物を取りに行くことが可能です。
- ・**全クラスとも競技時間は60分**です。競技時間を超えた場合は失格となります。
- ・フィニッシュした競技者がコース内に立ち入りを希望する場合は必ず係員に確認をしてください。

17:00～18:00 **<参加者限定>ワックス講習会 ルスツヘリポート 格納庫**

- ・参加については任意です。ただし参加できるのは本大会参加者および同伴者のみとなります。
- ・講習は以下の内容を予定しています。
 - ・最新ワックスの選択とその使用方法
 - ・以前から所有するワックスの取り扱いについて
 - ・ストラクチャーに関する情報提供
- ・講師：高橋直也氏
（サッポロスキッド、HP：<http://sapporo-skid.com/>）



フッ素系ワックスの使用について

- ・ IOF は「IOF Ski Orienteering Rules dec 2022 v1.3」の附則に、すべてのフッ素系ワックスの使用禁止を明記しました。JOA は上記の内容について賛同し、2022/23 シーズンより、すべてのフッ素系ワックスの使用禁止を、2022 年 12 月 4 日に宣言しました。すべてのフッ素系ワックスとは、C8/PFOA（ペルフルオロオクタン酸）はもちろん、PFOA を含まない C6、C4 タイプ等のフッ素系ワックスについても、すべて対象となっています。
本大会はもちろんのこと、今後の大会においてもフッ素系ワックスは使用できなくなることが予想されます。

<オンライン>ワックス講習会

日時：2022 年 12 月 20 日（火）21:00~22:00

講師：高橋直博氏

- ・ フッ素素材とは何か？
- ・ フッ素素材の抱える問題（環境・健康）
- ・ スキーワックスに使われる（使われた）フッ素素材
- ・ スキーワックスでのフッ素規制
- ・ フッ素フリーワックス
- ・ スキーワックスの今後（SKI-O に特化したもの）
- ・ 倫理問題

詳細は別途告知予定。



18:00~18:30 正式リザルト公開・テクニカルミーティング ルスツヘリポート 格納庫

- ・ 正式リザルトの発表を行います。また Web でも公開する予定です。
- ・ テクニカルミーティングを行います。翌日のレースについての質問事項は紙面にて 18:00 までに大会受付に提出してください。
- ・ テクニカルミーティング終了後に、翌日のスタート時刻の発表とビブスの配布を行います。

12月12日（日） パシュート or ミドルディスタンス

競技情報

地図 縮尺 1:5,000 等高線間隔 5m 2009 年北海道オリエンテーリング協会作成リメイク
A4 版 5 色刷 ISski-0M2009 準拠 EMIT 社製電子式コントロール使用
一部のクラスで 2 マップ方式を採用する可能性あり 全クラス給水なし
ME と WE クラスは Ecard の他に Emitag も配布しますが、成績は全クラス Ecard で計測します。
トラックの割合（圧雪車圧雪：スノーモービル圧雪：スキー圧雪）は当日発表します。

08:30~

大会受付 ルスツヘリポート 格納庫

- ・ 全ての参加者は必ず受付をお通りください。
- ・ ルスツリゾートから大会受付まで送迎車で約 10 分です。サウスウイング 1 階モノレールサウスステーション横からルミカル FOC 専用電話（080-9324-2390）にご連絡ください。送迎車が迎えに来ます。マイカーやレンタカー利用の方は自車での移動が可能です。送迎車の後を付いて移動をするなどしてください。
- ・ 受付ではビブス、電子式コントロールカード等配布物がありますので受け取ってください。参加同意書の提出をお願いします。参加料に不備があった場合、ここで清算していただきます。
- ・ コンパス、スキー、スノーシュー、マップホルダーのレンタルを希望される方は受付へ申し出てください。返却まで責任をもって保管してください。
- ・ 公式掲示板を格納庫内に設置しますので必ずご覧ください。
- ・ スタート地区は受付場所から徒歩で約 5 分の位置にあります。係員の指示に従ってください。

更衣室・荷物置き場

- ・ 更衣室はルスツヘリポートの格納庫に準備します。
- ・ 荷物置き場としてルスツヘリポートの格納庫を利用できます。ただし、夜間の出入りはできないため、忘れ物をしないようしてください。また、貴重品の管理は各自で行ってください。

09:30~10:00

<<バッシュートの参加選手>>

スタート

- ・トップスタートは09:30頃からのチェイシングスタート（特別ルールの採用あり）です。
- ・受付場所からスタート地区まで徒歩で約5分です。スタート地区には風雪をしのげる場所はありません。スタート地区に荷物を置くことはできません。スタート地区にトイレはありません。
- ・ウォーミングアップエリアはトレーニングコースおよび受付場所からスタート地区までの誘導区間のみです。
- ・電子式コントロールカードのない方はスタートできません。スタート地区で再配布はできません。
- ・09:20頃にスタート係員が全出走者の呼び出しを行います。参加選手は全員が一旦スタート枠付近に集合してください。
- ・係員にコントロールカードのチェックを受け、アクティベートを行ってください。
- ・スタート1分前になりましたら、地図を受け取ってください。このとき地図を見てはいけません。スタート15秒前になりましたら係員が合図しますので地図を見て構いません。各自スタートの準備をしてください。
- ・スタートの合図がありましたらスタートしてください。スタート枠から赤白テープ誘導に沿っていくと前方にスタートフラッグがあります。これが地図上でのスタートマーク（△）の位置となります。全走者は必ずテープ誘導に沿ってスタートフラッグを通過してください。スタートフラッグを経由せずにコースに出た選手は失格といたします。
- ・遅刻者は係員の指示を受けてください。遅刻者のタイムは正規のスタートタイムより起算して、正規のタイムとして認めます。
- ・10:00にスタートを閉鎖します。それ以後の出走は一切認めません。
- ・スタート地区ではウィンブレ輸送を行いません。また、スタート地区に残された荷物について大会係員は一切管理しません。

通過証明記印具について

- ・本大会ではEMIT社製 Ecard（電子式コントロールカード）を使用します。各コントロール（チェックポイント）に着きましたら、バックアップラベルを下にしてEcardを、フラッグに付いているユニットにはめてください。Ecardとユニットのランプが点滅します。またバックアップラベルにも跡が残ります。
- ・本大会ではMEとWEが通過するコントロールにはタッチフリーユニットが併設される予定です。全クラスでVer6のEcardを使用しますので、タッチフリーユニットのEcardマークにEcardを接触させると、Ecardとタッチフリーユニットのランプが点滅します。バックアップラベルには跡が残りませんが、全クラスで通過証明として使用できます。
- ・バックアップラベルは紛失しても失格にはなりません、Ecardが故障した際には通過証明の代わりになります。
- ・MEとWEはEcardの他にEmitag（タッチフリー用コントロールカード）を配布します。Ecardを持つ手と同じ方の腕に装着してください。
- ・全クラスにおいて正式なタイムはEcardで計測します。Emitagはテスト運用です。Ecardのデータに不備がある場合に、Emitagのデータを参照することもあります、必ず行う保証はありません。

~12:00

フィニッシュ

- ・最終コントロールからフィニッシュまでは赤白テープ誘導です。全走者は必ずテープ誘導に沿ってフィニッシュを通過するようにしてください。
- ・パンチングフィニッシュです。フィニッシュ用のユニットは2個あります。どちらでフィニッシュをしてもかまいません。フィニッシュ後係員に電子式コントロールカードを渡してください。地図は回収しません。スタート前の選手に見せないようにしてください。
- ・フィニッシュ閉鎖は12:00です。競技途中でも12:00までにはフィニッシュに戻ってください。また、途中で棄権する場合も必ずフィニッシュ・本部・救護所などの係員に連絡をしてください。12:00までに帰還確認できない場合には各方面に行方不明者として捜索依頼の連絡をいたします。
- ・質問・苦情等は大会受付にて文書のみ受け付けます。フィニッシュでは受け付けません。
- ・フィニッシュ地区はスタート地区に隣接しています。フィニッシュ後にスタートに置いた荷物を取りに行くことが可能です。
- ・競技時間はトップスタートから120分です。競技時間を超えた場合は失格となります。

10:00~

<<ミドルディスタンス・マスタートの参加選手>>

スタート

- ・全クラスは 10:00 に一斉スタートです。
- ・受付場所からスタート地区まで徒歩約 5 分です。スタート地区には風雪をしのげる場所はありません。スタート地区に荷物を置くことはできません。スタート地区にトイレはありません。
- ・ウォーミングアップエリアはトレーニングコースおよび受付場所からスタート地区までの誘導区間のみです。
- ・電子式コントロールカードのない方はスタートできません。スタート地区で再配布はできません。
- ・スタート 3 分前になりましたらスタート枠にお入りください。係員に E-card のチェックを受け、アクティベートを行ってください。スタート枠ではスタート係員の指示に従って並んでください。レースが始まるまでスタートエリアから出ることは出来ません。
- ・スタート 1 分前になりましたら地図を受け取ってください。このとき地図を見てはいけません。スタート 15 秒前になりましたら係員が合図しますので地図を見て構いません。各自スタートの準備をしてください。
- ・スタートの合図（チャイム）がなりましたらスタートしてください。スタート枠から 10m まではスケーティング禁止です。スタート枠から 赤白テープ誘導 に沿っていきと前方にスタートフラッグがあります。これが地図上でのスタートマーク（△）の位置となります。全走者は必ずテープ誘導に沿ってスタートフラッグを通過してください。スタートフラッグを経由せずにコースに出た選手は失格といたします
- ・遅刻者は係員の指示を受けてください。遅刻者のタイムは正規のスタートタイムより起算して、正規のタイムとして認めます。
- ・10:15 にスタートを閉鎖します。それ以後の出走は一切認めません。
- ・スタート地区ではウィンブレ輸送を行いません。また、スタート地区に残された荷物について大会係員は一切管理しません。

通過証明記印具について

- ・本大会では EMIT 社製 Ecard（電子式コントロールカード）を使用します。各コントロール（チェックポイント）に着きましたら、バックアップラベルを下にして Ecard を、フラッグに付いているユニットにはめてください。Ecard とユニットのランプが点滅します。またバックアップラベルにも跡が残ります。
- ・本大会では ME と WE が通過するコントロールにはタッチフリーユニットが併設される予定です。全クラスで Ver6 の Ecard を使用しますので、タッチフリーユニットの Ecard マークに Ecard を接触させると、Ecard とタッチフリーユニットのランプが点滅します。バックアップラベルには跡が残りますが、全クラスで通過証明として使用できます。
- ・バックアップラベルは紛失しても失格にはなりません、Ecard が故障した際には通過証明の代わりになります。

~12:00 フィニッシュ地区

- ・最終コントロールからフィニッシュまでは 赤白テープ誘導 です。全走者は必ずテープ誘導に沿ってフィニッシュを通過するようにしてください。
- ・パンチングフィニッシュ です。フィニッシュ後係員に電子式コントロールカードを渡してください。地図は回収しません。
- ・フィニッシュ閉鎖は 12:00 です。競技途中でも 12:00 までにはフィニッシュに戻ってください。また、途中で棄権する場合も必ずフィニッシュ・本部・救護所などの係員に連絡をしてください。12:00 までに帰還確認できない場合には各方面に行方不明者として捜索依頼の連絡をいたします。
- ・質問・苦情等は大会受付にて文書のみ受け付けます。フィニッシュでは受け付けません。
- ・フィニッシュ地区はスタート地区に隣接しています。フィニッシュ後にスタートに置いた荷物を取りに行くことが可能です。
- ・全クラスとも競技時間は 120 分です。競技時間を超えた場合は失格となります。

12:30~13:30 正式リザルト公開・地図販売 ルスツヘリポート 格納庫

- ・正式リザルトの発表を行います。また Web でも公開する予定です。
- ・パシュートの成績は、1 秒単位までとし、タイムに差が無い場合は同着とします。（特別ルール）
- ・ME クラスおよび WE クラスの 1 位の各選手を、北海道選手権者とします。
- ・地図販売は受付にて 12:30 より行います。後日郵送となります。

競技上のご注意とお知らせ

<<スキーオリエンテーリング競技規則>>

- スキーオリエンテーリング大会は（公社）日本オリエンテーリング協会が定める「日本スキーオリエンテーリング競技規則」に準拠いたします。競技種別は全レースポイントオリエンテーリングです。
- ・本大会では、2022年12月4日にJOAより公表された「フッ素系ワックスの使用について」の内容に賛同し、**すべてのフッ素系ワックスの使用を禁止します。**すべてのフッ素系ワックスとは C8/PFOA（ペルフルオロオクタン酸）はもちろん、PFOA を含まない C6、C4 タイプ等のフッ素系ワックスについても、すべて対象となります。
- ・全レース、EMIT 社製電子式コントロールを使用します。
- ・一部のコントロールにはタッチフリーユニットが併設される予定です。全クラスで Ecard (v6) を使用しますので、タッチフリーユニットの方でパンチ操作をすることも可能です（その場合にはバックアップラベルに跡は残りません）。
- ・ME と WE では、Ecard の他に Emitag（タッチフリー用コントロールカード）も配布しますが、**正式タイムは Ecard の方で計測します。必ず Ecard でパンチ操作を行ってください。**Ecard に不備がある場合に Emitag を参照することもあります。必ず行う保証はありません。
- ・積雪状況によって、設置方法が変更になる場合があります。
- ・競技上における変更事項は受付横の公式掲示板にてお知らせいたします。
- ・参加者が自分自身・あるいは第三者に与えた損害・損失等について主催者は一切その責任を負いません。
- ・本大会参加者には傷害保険を付保しておりますのでケガをされた方は大会終了後でも問い合わせ先までお知らせください。ただし、少額ですのでご自身でも保険準備と健康保険証の持参をおすすめします。
- ・本大会はルスツリゾート敷地内にて開催し、主催者は参加者の安全に十分配慮をしますが、厳冬期の異常気象下では怪我などの不運が重なると生命の危険もあり得ることを各自認識し、ホイッスル等を携行し救助準備ができる準備を推奨します。
- ・本大会は最小限の人数で運営しますので、参加者の皆様も円滑に運営進行するようご協力をお願いします。
- ・ゴミは必ず持ち帰ってください。

ワクシングルールの利用について

ルスツリゾートにはワクシングルールが3カ所用意されております。

- ① ウェスティン ルスツリゾート1階 モノレールステーション横
- ② ノースウィング2階、宿泊者用ロッカールーム・更衣室隣接
- ③ サウスウィング1階、宿泊者用ロッカールーム・更衣室隣接

※ 本大会の受付場所である格納庫にワックス台を1台準備しますが夜間の使用はできません。

トレインプロフィール

本トレインは、支笏洞爺国立公園のほぼ中間付近の留寿都村の丘陵地帯です。競技エリアは、河川に隣接する雑木林およびゴルフ場が中心となります。ただし積雪状況により、予備トレインへの変更の可能性があります。

標高	14日	15日
最高	420 m	420 m
スタート	345 m	345 m
フィニッシュ	345 m	345 m
最低	340 m	340 m

トレイン内の標高（予定）

コースプロフィール（コース設定者 信原 靖）

本大会は時期的にシーズンに入ったばかりであり、雪が柔らかく、積雪量も少ないと予想されます。そのため、どのレースでも圧雪路以外の部分はリスクが高く、場合によっては積雪が足りなくブッシュなどの地図に表現されていない障害物にあたる可能性があります。基本的にはなるべく難易度の高いコースを提供することを考えていますが傾斜の緩いトレインなので、ハイスピードなレース展開を楽しんでください。

参加者リスト

クラス	お名前	フリガナ	性別	所属
ME	青木 雅実	アオキ マサミ	男性	大阪大学OBOG会
ME	安達 利雄	アダチ トシオ	男性	アークスキーチーム
ME	阿部 凜太郎	アベ リンタロウ	男性	-
ME	石原 湧樹	イシハラ ユウキ	男性	アークスキーチーム
ME	岩渕 泳人	イワブチ エイト	男性	岩手県オリエンテーリング
ME	大西 肇	オオニシ ハジメ	男性	北大OLC
ME	岸 祥太郎	キシ ショウタロウ	男性	-
ME	木谷 弥彦	キヤ ミツヒコ	男性	北海道OL協会
ME	小浦 姿	コウラ スガタ	男性	北大OLC
ME	後藤 孔要	ゴトウ コウヨウ	男性	桐嶺会/サン・スーシ
ME	柴田 達真	シバタ タツマ	男性	
ME	清水 嘉人	シミズ ヨシト	男性	札幌OLC/札幌農学校
ME	高橋 光	タカハシ ヒカル	男性	真室川レーシングチーム
ME	堂垂 悠人	ドウタレ ユウト	男性	北大OLC
ME	中島 颯大	ナカジマ ソウタ	男性	-
ME	平石 大河	ヒライシ タイガ	男性	北海道大学
ME	本多 哲大	ホンダ アキヒロ	男性	北大OLC
ME	道坂 怜生	ミチサカ レオ	男性	大阪OLC
WE	荒町 美希	アラマチ ミキ	女性	-
WE	岩渕 七海	イワブチ ナナミ	女性	岩手県オリエンテーリング
WE	大里 真理子	オオサト マリコ	女性	アークスキーチーム
WE	酒井 佳子	サカイ ヨシコ	女性	札幌農学校
WE	白鳥 桂子	シラトリ ケイコ	女性	水篤刈
WE	高野 澄佳	タカノ スミカ	女性	阪大OLC
A	内潟 風翔	ウチカタ カザト	男性	北大OLC
A	神原 柚乃	カンバラ ユズノ	女性	-
A	木村 佳司	キムラ ケイシ	男性	長野県協会
A	熊田 大晃	クマダ ヒロアキ	男性	北大OLC
A	高橋 義	タカハシ タダシ	男性	真室川レーシングチーム
B	泉田 弥壱	イズタ ヤイチ	男性	北大OLC
B	岩沢 優真	イワサワ ユウマ	男性	北大OLC
B	坂本 拓登	サカモト タクト	男性	北大OLC
B	鈴木 敬太	スズキ ケイタ	男性	北大OLC
B	津田 幹太	ツダ カンタ	男性	北大OLC
B	寺嶋 一樹	テラシマ カズキ	男性	ES関東C
B	寺嶋 貴美江	テラシマ キミエ	女性	ES関東C
B	野寄 雄大	ノヨリ ユウダイ	男性	北大OLC
B	羽田 直樹	ハダ ナオキ	男性	北大OLC
N	加藤 かなえ	カトウ カナエ	女性	下川xc少年団
N	加藤 準	カトウ ジュン	男性	下川XC少年団
N	加藤 円和	カトウ マドカ	女性	下川xc少年団
N	小野 颯	オノ ハヤテ	男性	チームスターズ
N	西原 朗	ニシハラ アキラ	男性	

参加同意書（兼健康状態確認票）

私は、北海道オリエンテーリング協会が主催する本大会の参加に当たり、以下の条項全てを同意した上で署名致します。また、私が未成年の場合は保護者が同意の上、共に署名致します。

1. 私は、自然環境下での競技に伴う危険性を認識し、天候の変化や不測の事態による中止または変更が有り得ることを理解し、主催者、運営スタッフの判断及び指示を順守し従います。
2. 私は、本大会において万が一、障害、損害が生じた場合の補償は保険の範囲内とし、主催者、運営スタッフ及び他の参加者に対して責任を問わず、自己の責任において処理します。
3. 私は、本大会が医療施設から離れた場所で行われることを認識し、主催者が必要性を認めた場合、主催者の選択する医療機関への搬送、応急処置、治療に従います。また、その際にかかった費用は自己の責任において処理します。
4. 私は、公益社団法人日本オリエンテーリング協会が2022年12月4日に公表した「フッ素系ワックスの使用について」の内容に賛同し、本大会でフッ素系ワックスを使用しません。
5. 現在の私の健康状態は、本大会参加に関して問題ありません。日常的なハンディキャップを持つ場合でも、参加においては問題ありません。また、私は下記の項目に該当しないことを誓います。
1) 身体的障害 2) 精神的障害 3) 酒気帯び 4) 妊娠中 5) その他体調不良
6. 私は、本大会中に撮影された動画や静止画の肖像権一切を放棄し、本大会または以降の活動報告や告知活動のためホームページなどのweb媒体、SNS、各種印刷物等に掲載・使用することに同意します。また大会成績や大会記録等をメディアその他に掲載する権利は大会主催者に属することを認めます。
7. 私は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、マスクの着用、手洗い消毒の実行、検温、ソーシャルディスタンスの確保、その他主催者・運営スタッフの指示に従うことに同意します。
また、以下に当てはまらない項目がある場合、参加を見合わせることに同意します。

（当てはまる項目の□に✓を記入してください）

- 発熱が無い（平熱より+0.5℃以上、または37.5℃以上の発熱）
- 咳、喉の痛みなどの症状がない
- 強いだるさや息苦しさが無い
- 体調は万全である
- 日本への入国・帰国後の待機期間中ではない（待機期間中の同居者との濃厚接触を含む）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいない

記入日 西暦 年 月 日 参加クラス _____
参加者氏名 西暦 年 月 日生（ 才） _____
保護者氏名（未成年の場合のみ） _____
住所 緊急連絡先電話番号 _____

※ 個人情報の取り扱いについて

大会主催者は個人情報の保護に関する法律を順守し、個人情報の適正な取り扱いと保護に努めます。参加者より提供された個人情報（参加者氏名・生年月日・保護者氏名・住所・電話番号・参加者の健康状態）は本大会参加同意の確認にのみ使用し、情報発信については希望者のみとします。その他の使用及び第三者への提供、開示等は一切致しません。

HOKKAIDO SKI-ORIENTEERING CHAMPIONSHIP 2023

クロスカンリースキーで
オリエンテーリングをしてみよう!

スキーオリエンテーリング 2022-23 イベントカレンダー



日程 (単日での参加も可能です)	イベント	トレイン (宿泊場所付き)
11/18-20	旭岳初滑り合宿	北海道東川町 旭岳温泉
12/17-18	ルスツ World Cup, JWSOC 選考会	北海道留寿都村 ルスツリゾート
12/23-25	黒姫スキーO合宿	長野県信濃町 黒姫高原
1/14-15	奥日光初心者講習会	栃木県日光市光徳温泉 日光アストリアホテル
●1/7-14 オーストリア World Cup, SKI-O Tour 2023		
1/21-22	飯豊スキーO合宿	山形県飯豊町 白川ダム湖岸公園
1/28-29	真室川初心者講習会	山形県真室川町 神室少年自然の家
●1/30-2/5 ラトビア JWSOC, ESOC, EYSOC		
●2/9-12 ノルウェー World Cup, WMSOC		
2/23	小松体験会	石川県小松市 里山自然学校大杉みどりの里
2/26	小千谷大会	新潟県小千谷市
2/25-26	八子高原体験会 (雪まつり同時開催)	兵庫県養父市 八子高原スキー場
3/3-5	ルスツ スキーO全日本大会 (併設クラスにてどなたでも参加できます)	北海道留寿都村 ルスツリゾート
3/18-19	志賀高原初心者講習会	長野県山ノ内町 癒しの宿幸の湯
3/25-26	安比高原ジュニア講習会 (ジュニアに限らず参加できます)	岩手県八幡平市 安比高原
4月中旬予定	旭岳ジュニア講習会 (ジュニアに限らず参加できます)	北海道東川町 旭岳温泉
4月下旬または5月GW予定	妙高残雪合宿	新潟県妙高市 笹ヶ峰グリーンハウス

2022.11.15現在の計画です。イベントは変更になる場合があります。ご了承ください。最新の日程は以下にてご確認いただき、お申し込みください。

日本オリエンテーリング協会スキーO委員会のHP https://www.orienteering.or.jp/ski_news/
[orienteering.com](http://www.orienteering.com/index-j.htm) <http://www.orienteering.com/index-j.htm>
[Japan-O-entryY](https://japan-o-entry.com/) <https://japan-o-entry.com/>



●海外大会への出場は、原則として選考会で選考される必要がありますが、その他のイベントではすべて、初めての方歓迎です。

スキー苦手な方! スノーモービル興味ある方! 運営しませんか

スキーOが初めてでも、スキーができなくても大丈夫です!
体験だけでも大歓迎です。丁寧にお教えます。

- ・会場運営・スタートフィニッシュ役員・コース設定・地図描き
- ・スノーモービルでの圧雪・コントロール設置・計算センター など



【用具はレンタルできます!】

スキー板等、用具が無くてもご参加いただけます。
服装は通気性の良い薄手の登山用雨具が適しています。手袋、帽子等のご持参ください。

お問い合わせ:(発行)高島怜也 reiyatakasima@outlook.jp